使用方法

0.入力ファイルを用意

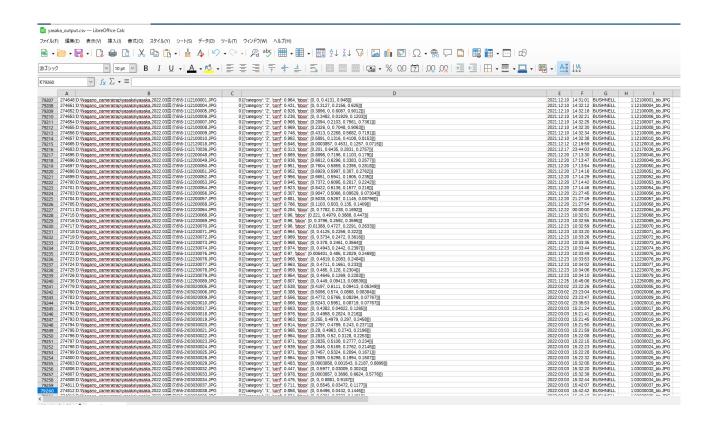
ImageExtractWin などのプログラムで生成した csv ファイルを用意する。

yodaka0/ImageExtractWin

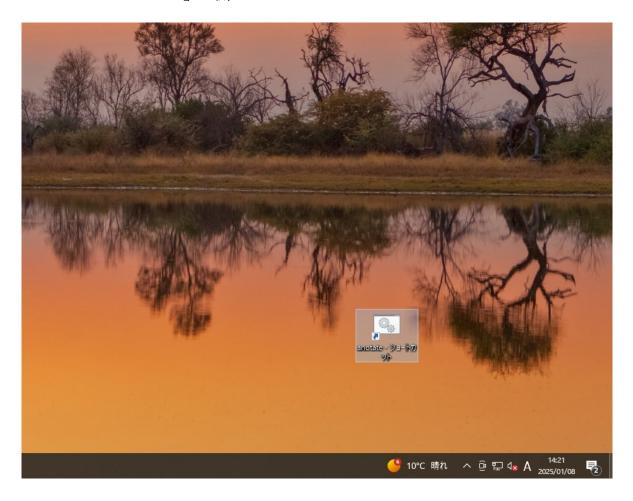
mdet_qui.py (MegaDetectorで検出、空撃ち除去)

or

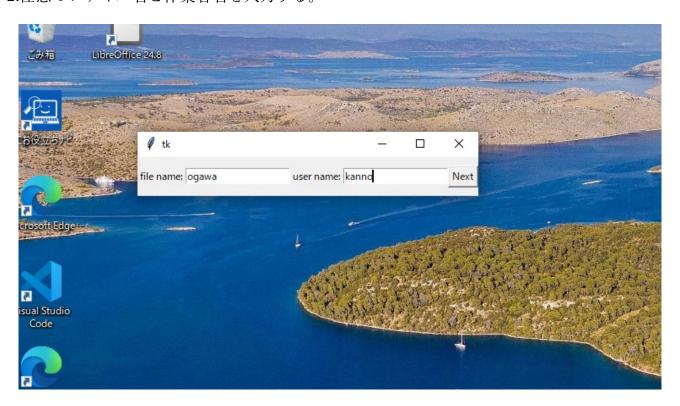
anotate/prosexif.py (exif 情報のみ取得)



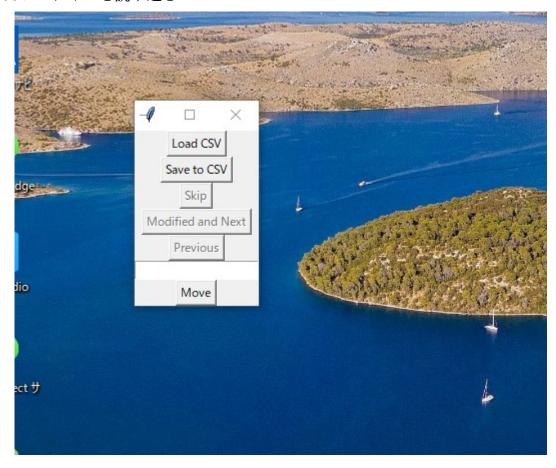
1.ショートカット 「anotate」を開く



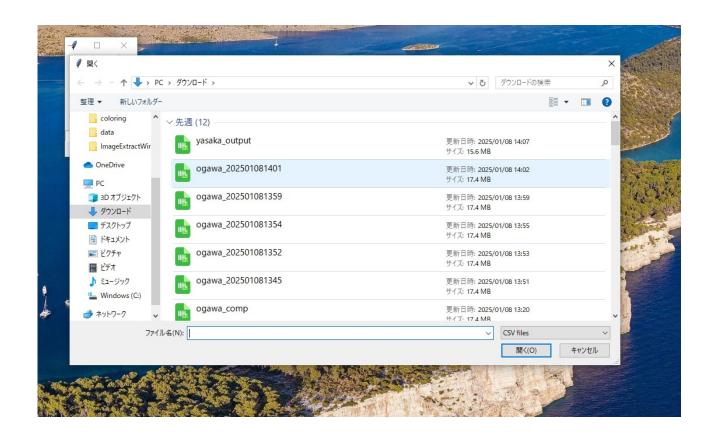
2.任意のファイル名と作業者名を入力する。



3.編集用 CSV ファイルを読み込む



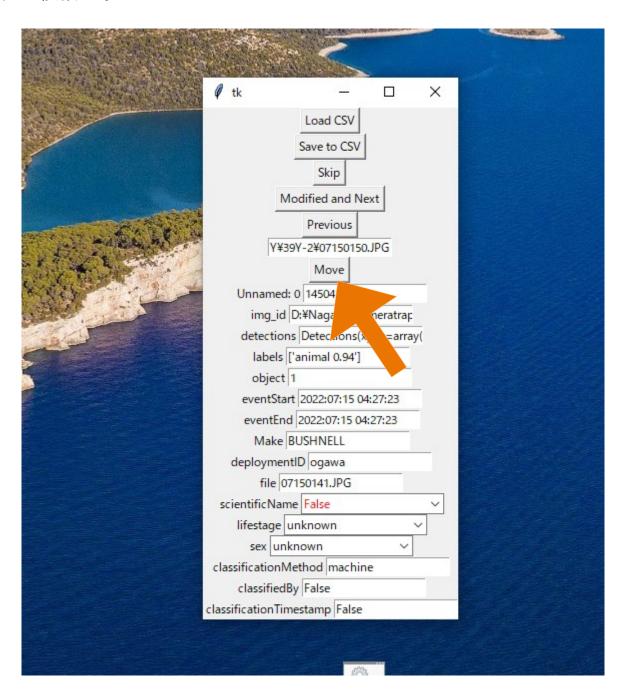
「LoadCSV」ボタンを押して目的のファイルを探して、それを選択する。



4.移動する

作業したい画像ファイルのパスを空欄に入力した後、「Move」ボタンを押すと入力フォームがその位置まで移動する。

もし前回の作業で保存した CSV ファイルを読み込んでいた場合、自動的に中断した場所まで移動する。

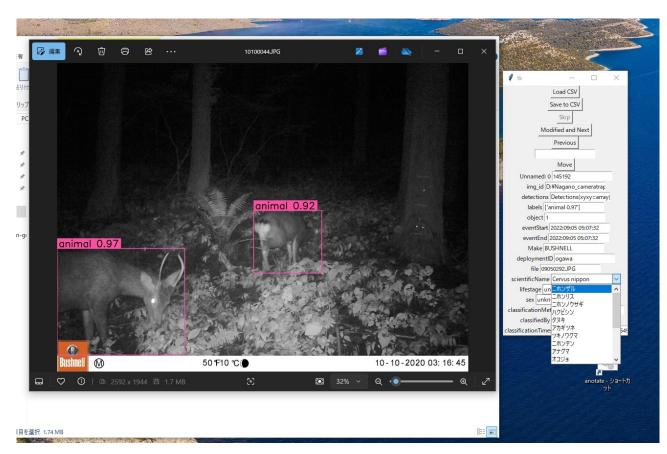


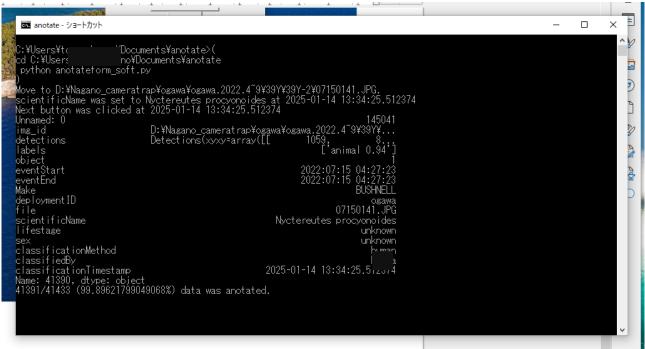
5.アノテーションを行う

種名(scientificName)等を入力し、「Modified and Next」ボタンを押すと変更が確定され 次のフォームに移る。classificationMethod("human"), classifiedBy(入力者名), classificationTimestamp(現在時刻)は自動で入力される。

「Skip」ボタンを押すと変更されずに次のフォームへ移動する。

次の画像が前の画像から2分以内に撮影されていた場合、自動的に同じ種名が入力される。





6.保存

「Save to CSV」ボタンを押すか、tk ウィンドウを閉じると、最初にファイルを読み込んだのと同じディレクトリに CSV ファイルが保存される。

*.入力ウィジェットの編集

data ディレクトリの spieces_name.csv ファイルを編集する。

japanease_name が入力ウィジェットに表示され、それと同じ行の scientific_name が保存される。

